

平成15年度 第2次試験 【事例】

与件を活用した解答例

第1問(配点25点)

(a)	売上高対営業利益率	(b)	- 2.84%
(c)	従業員の高齢化に伴う人件費負担が収益を圧迫している点である。		
(d)	役員報酬のカットや業績連動型賃金などの新しい人事政策を講じ、収益性の向上を図る。		

(a)	流動比率	(b)	56.82%
(c)	取引金融機関が融資先選別に入る中、短期支払能力が低い点である。		
(d)	土地の遊休部分を一部売却し短期借入金の返済に充当させることで、安全性の向上を図る。		

第2問(配点25点)

(設問1)

(a)	75%
(b)	49百万円

(設問2)

(a)	196百万円
(b)	問題点は、損益分岐点比率が高いことである。解決の方向性は、変動費率の引き下げと固定費の削減である。

第3問(配点25点)

(設問1)

個別原価計算を行えばよい。計算方法の概要は、受注した製品ごとの実際原価の算定を行うことである。

(設問2)

現在別々に運用されているCADシステムと財務会計用経理システムのデータを統合して利用するべきである。
--

CADシステムの材料データや財務会計用経理システムの実際原価データを新たに追加していくべきである。

第4問(配点25点)

(設問1)

1年目	2年目	3年目
- 16百万円	31百万円	31百万円
4年目	5年目	
31百万円	43百万円	

(設問2)

正味現在価値がプラスとなるため経営改善計画を実行すべきである。今後、X社Y工場から技術的に一層高度な製品の受注量を増やし営業利益の改善を図ることをアドバイスする。
